

令和 7 年度

入学者選抜学力試験問題

小 論 文 (後期)

〔注 意〕

1. 監督者の指示があるまで、この冊子を開かないこと。
2. この冊子の問題は 5 ページからなる。落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば監督者に申し出て、問題冊子の交換を受けること。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙 3 枚に受験番号および氏名をそれぞれ必ず記入すること。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された場所に、縦書きで記入すること。
5. 解答に字数制限のある場合は、句読点と括弧を字数に数えること。
6. 解答は、内容とともに、語彙、漢字、構文、句読点の付け方、表現の正確さにも注意して書くこと。
7. この冊子は、持ち帰ること。

著作権の関係で公開できません。

1～3ページ

著作権の関係で公開できません。

著作権の関係で公開できません。

〔ガート・ビースタ『教育の美しい危うさ』（田中智志／小玉重夫監訳）による。一部改変〕

（注１） 複数の要素や概念の範囲や関係性を図で表したもの。

（注２） ギリシャ哲学用語で、完成、目的を意味する。

問 あなたが教師になった際、取り組んでみたい授業や教育活動において、傍線部の「教師の仕事にとって中心的なもの」を踏まえてどのように進めるか。筆者のいう教育の三領域に触れながら、七〇〇字以内で論じなさい（句読点と括弧は字数に数える）。

著作権の関係で公開できません。

4～5 ページ

著作権の関係で公開できません。

(ヨハン・エクレフ『暗闇の効用』(永盛鷹司訳)による。一部改変)

問一 傍線部(1)について、「私は安らぎを感じ始める」のはどのような理由によると考えられるか。文章中の表現を用いながら、100字以内で説明しなさい(句読点と括弧は字数に数える)。

問二 傍線部(2)では、光が「規制」される可能性について述べられている。それに対するあなたの意見を400字以内で述べなさい(句読点と括弧は字数に数える)。賛成・反対いずれの立場で述べても構いません。